

アット東京の サステナビリティ

2023 年度版（2024 年発行）



@Tokyo



アット東京のサステナビリティ実現への取り組み

ご挨拶

アット東京はノーダウンでの運営を前提に、データセンター事業者としてビジネスの安全・安心を提供してきました。私たちはさまざまな設備を運用し、日々大量のエネルギーを消費するデータセンター事業者です。だからこそ、環境への高い意識を常に持ち続けています。また、高いサービスレベルを維持するためにも、働く人たちの安全と健康を最優先に考え、快適に働ける職場環境と心身の健康づくりを推進しています。これからもアット東京は、ESG(環境・社会・ガバナンス)を重視した取り組みを進めてまいります。



代表取締役社長 泉田 達也

基本方針とこれまでの歩み

アット東京では、「セコムグループ サステナビリティ基本方針※」のもと、持続可能な社会の実現に向けて努めています。

これらが認められ、企業のサステナビリティに関する国際的なCSR評価機関EcoVadis(エコバディス)社(本社:フランス)による2023年の調査で、「プラチナ」評価を獲得しました。「プラチナ」は世界各国の受審企業のうち評価上位1%以上のスコア取得などの基準を満たした企業に与えられます。また、2023年にISO45001を取得し、快適に働ける職場環境づくりと心身の健康づくりを推進しています。これからも一層、サステナビリティ課題への取り組みを推進してまいります。



※セコムグループ サステナビリティ基本方針
<https://www.secom.co.jp/corporate/sustainability/management/sustainability.html>

脱炭素・環境型社会の実現

エネルギーを大量に消費するデータセンター事業者だからこそ、脱炭素・循環型社会に向けた取り組みをより一層推進し、責務を果たしていきます。

働きやすい環境・ダイバーシティの推進

重要なのは、私たちのビジネスを通じて、働く人々がそれぞれの幸せを実現すること。多様性に富み、安全で働きやすい職場環境を目指しています。

社会から信頼される企業を目指して

社会基盤を支える情報通信インフラであるデータセンター事業を継続するために、さまざまなリスクへの対応を進めています。

お客さまのビジネスのために

お客さまがこれからもビジネスをさらに拡大していくことができるよう、さまざまなサービスの拡充を行なっています。



脱炭素・環境型社会の実現

デジタル化の進行により、ICT活用による通信トラフィックおよび電力消費が激増しています。そのため、データセンター事業者およびデータセンターをご利用の皆さまにも、持続可能な脱炭素社会の実現に向けた対策が求められています。セコムグループでは「セコムグループ カーボンゼロ2045」を策定。グループ全体のスコープ1+2で、温室効果ガスを2045年までに排出ゼロにするという目標を掲げ、その通過点である2030年度までに2018年度比で45%削減することを目指しています（SBT認定済）。グループの一員であるアット東京でも、脱炭素の目標達成に向けて取り組みを推進します。また、「セコムグループ環境方針※」に基づき、持続可能な利用と調達、廃棄物の削減及び再資源化を推進します。これらを通じて、持続可能な脱炭素・環境型社会の実現に貢献してまいります。

※セコムグループ環境方針

<https://www.secom.co.jp/corporate/sustainability/infra/environment/management.html>

SECOM GROUP Carbon Zero 2045



温室効果ガス排出量削減への取り組み

再生可能エネルギーの活用

セコムグループはRE100に加盟しており、事業活動で使用する電力の100%を2045年までに再生可能エネルギー由来のものとすることを目指しています。当社としても目標実現のために、今後再生可能エネルギーの活用を積極的に進めていきます。2024年4月より、東京都内にあるデータセンターの使用電力は、FIT非化石証書を活用した実質再生可能エネルギーを標準仕様としました。加えて、オフサイトフィジカルコーポレートPPAを締結し、アット東京第3センター（DC3）に供給される電力の一部が、追加性のある生グリーン電力になりました。

温室効果ガス排出量

アット東京における2023年度の温室効果ガス排出量は、スコープ1: 357.93t-CO₂、スコープ2: 48,227.54t-CO₂（マーケット基準）となっています。今後も削減に向けてさまざまな取り組みを推進することで、データセンターご利用の各企業の皆さまに対して、より一層の脱炭素への貢献が期待できます。



オフサイトフィジカルコーポレートPPA太陽光発電設備

水資源の有効活用への取り組み

ブロー水の再利用

水の消費量削減のために、データセンターのサーバー室で発生した熱の処理に用いる冷却水（ブロー水）の再利用を実施しています。2023年度は、本来廃棄されるはずの冷却水を合計30,274m³再利用することに成功しました。

2023年度 ブロー水再利用率

	CC1	CC2	合計
ブロー水	45,049m ³	60,185m ³	105,234m ³
再利用した水	15,732m ³	14,542m ³	30,274m ³
再利用率	34.9%	24.2%	28.8%

節水の推進

都内にあるセンターのトイレの手洗器に自動水栓を導入しているほか、アット東京中央第2センター（CC2）では無水トイレを導入。また、アット東京中央第3センター（CC3）では給水栓に節水コマを設置し、大便器にフラッシュタンク式という節水型の便器を採用しました。さらにCC3では、空調の冷却水系統を密閉式とすることで大気への蒸発を大幅に削減し、節水につなげています。

WUE^{※1}の管理

2022年度よりセンターごとのWUEを算出し、実績管理を開始しております。水の使用量は熱源方式によって大きく変わるためWUEの絶対値評価はできないものの、今後継続して算出することで、過去比較やPUE^{※2}との比較にて評価を行なっていきます。

2022～2023年度のWUEの推移

	CC1	CC2
2022年度	2.03	2.03
2023年度	2.16	2.03

※1 Water Usage Effectiveness（データセンター全体の年間水使用量をIT機器の消費電力で割った値）

※2 Power Usage Effectiveness（データセンター全体の消費電力をIT機器の消費電力で割った値）



働きやすい環境・ダイバーシティの推進

アット東京は、仕事と家庭の両立支援や研修制度の充実、リモートワークの活用などを通じて、誰もが働きがいを感じるような職場環境づくりを進めています。

そして、多様な人材の活躍や柔軟な働き方に関する取り組みをさらに加速させていきます。

また、労働安全衛生への取り組みも積極的に推進。ISO45001の認証取得や、安全パトロールの実施などを通じて、従業員ならびに協力会社の皆さまの安全と健康を最優先とする考え方を浸透させ、快適で健康に働くことができる職場環境を構築していきます。



ダイバーシティと人材育成

仕事と家庭の両立支援

従業員の雇用環境の整備として、子どもが3歳になるまで取得可能な育児休業制度、小学校3年生の終業時まで取得可能な時短勤務制度などを設けています。また、出産予定者には個別面談の実施や、社内ハンドブックを作成し、支援を行なっています。

加えて、不妊治療のための休暇制度や費用補助制度の導入などを行なっています。2023年は、職場への理解促進のため、不妊治療のセミナーを開催しました。

この他にも、各種休暇の取得を推奨し、働きやすい環境の整備を進めています。

2023年度 育児休業取得率・有給休暇平均取得日数

育児休業取得率※		有給休暇平均取得日数
男性 92.8%	女性 333.3%	14.3日

※厚生労働省が定義した方法で算出、前々年度以前に出生し、前年度に育児休業した社員を含む

研修制度の充実

従業員一人ひとりがプロフェッショナルとして知識や能力向上の研鑽に努められるように、また、多様な価値観・能力を重ね合

わせてチームとしてのアウトプットを高められるように、さまざまな能力開発の機会提供に努めています。



階層別社内研修

リモートワークの活用

ワークライフバランス実現のための取り組みとして、従業員自らが働く場所を選択できるリモートワーク制度を導入しています。自宅や帰省先、旅行先でも勤務可能としています。

労働安全衛生

ISO45001の認証取得

従業員並びに協力会社の安全と健康を最優先とする考えから、快適に働ける職場環境と心身の健康づくりを推進しています。2023年より、労働安全衛生マネジメントシステムを構築・運用し、本社、中央センター(CC1)、中央第2センター(CC2)、第2センター(DC2)、第3センター(DC3)、関西中央センター(KC1)、関西第3センター(KDC3)でISO45001の認証を取得しています(2024年10月時点)。



ISO 45001
JISHA-O-112



MS
CM058

労働安全衛生への取り組み

職場や現場に潜むリスクの発見・除去・低減のために、安全衛生委員会と部門が連携して安全パトロールを実施し、協力会社とコミュニケーションを図りながら作業環境の改善を行なっています。

また、従業員の安全意識の向上を目的とした各種安全衛生教育を実施し、従業員自らが「労働災害は自分事」として捉え、労働災害ゼロに向けた活動を推進しています。



作業前のKY(危険予知)ミーティング



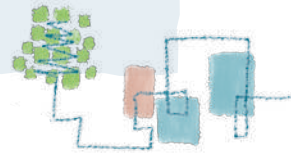
KY研修



社会から信頼される企業を目指して

アット東京は「社会基盤を支える情報通信インフラの提供」という企業理念のもと、お客さまから信頼いただける会社であり続けることが重要と考えます。

アット東京では、「内部統制システムの基本方針」に基づき、「企業倫理規程」を定め、従業員のコンプライアンス向上のための取り組みを推進するとともに、情報セキュリティ並びに個人情報保護マネジメントシステムを導入し、お客さまの大切な財産である情報の保護に努めています。また、事業継続に関わるリスクに対しては「事業継続管理（BCM）」の仕組みを構築・運用するなど、信頼のおける誠実な企業活動を行なっています。



コンプライアンス向上のための取り組み

相談窓口の設置

従業員（退職後1年以内の従業員も含む）が、当社の従業員の法令、企業倫理に違反する行為や、違反するおそれのある行為を見つけた場合に、相談できる窓口を設けています。相談の内容は、企業倫理委員会で審議されます。

従業員の教育

企業倫理に関する情報を従業員に共有するため、また、従業員がセコムグループ社員行動規範に基づいて行動し、組織運営を推進できるようにするため、年に1回、全従業員を対象とした企業倫理研修を行なっています。

2023年度 企業倫理研修の受講率

企業倫理研修の受講率
100%



企業倫理研修

情報セキュリティ

ISO27001の認証取得

情報セキュリティ並びに個人情報保護マネジメントシステムを導入しています。会社としてプライバシーマークの認証を取得しているほか、中央第3センターを除く本社と各データセンターでは、ISO27001の認証を取得しています（2024年10月時点）。毎年、目標設定を行ない、全従業員に対して、情報セキュリティと個人情報保護の研修を行なっています。

2023年度 情報セキュリティ研修・個人情報保護研修の受講率

情報セキュリティ研修の受講率	個人情報保護研修の受講率
100%	100%

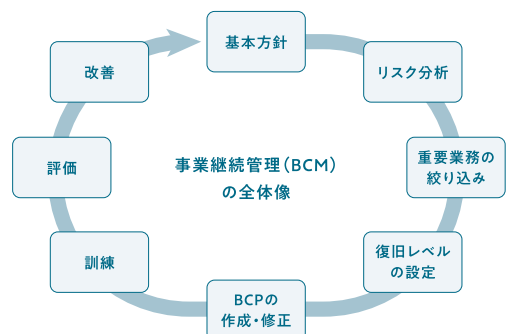
緊急事態への対応

事業継続に向けた取り組み

社会基盤を支える企業として、地震や火山噴火などの自然災害、その他事業に甚大な被害をもたらす危機が発生した場合でも、人命・安全確保を最優先とし、社会への影響を最小限とできるよう「事業継続管理（BCM）」の仕組みを構築・運用しています。

事業継続に関わるリスク分析を年に2回行ない、特定したリスクに対しては、防止・低減措置および事業の復旧・継続を行なうための具体的な対応（BCP）を策定しています。

さらに、BCPの実行を確実にするために、全社で年に1回BCP訓練を行なっています。



お客様のビジネスのために

アット東京では、昨今のデータセンターへの需要の高まりやクラウドなどへの接続、BCP対策としての活用といったご要望にお応えするため、東京・大阪を中心に、接続性とノーダウンオペレーションの優位性を最大限に活かした拠点の全国展開を続けています。

また、柔軟なオンサイト運用サービスや共創を支援するポータルサイトなども、お客さまからご好評をいただいています。今後も24時間365日、お客さまのビジネスを支える新たなセンターの開設や、サービスの拡充・柔軟性の向上に取り組むことで、お客さまのビジネス拡大に貢献していきます。



接続性に優れたサステナブルな次世代データセンター

アット東京中央第3センター(CC3)

アット東京中央第3センター(CC3)は、実質再生可能エネルギー100%での運用を標準とした、新たなデータセンターです。このCC3はパブリッククラウドやIX・パートナー企業の皆さまの相互接続拠点としての利用を主用途に、AIへの対応やハイバースケーラーをはじめとした大規模需要への対応も可能としています。

日本有数のネットワーク集積拠点の芝浦・品川地域に位置し、東京港横断通信ケーブルを活用して、アット東京の各データセンターで提供するサービスとシームレスに接続できます。



アット東京中央第3センター(CC3)

お客さまと創るサービス

オンサイト運用サービスで柔軟に対応

アット東京では、さまざまなオンサイト運用サービスを日英バイリンガルで提供しています。「お客さまのご希望に沿う柔軟なサービス」がモットー。特にリモートハンズでは、24時間365日、お客さまに代わってご要望に対応しています。緊急性を要する作業はもちろん、荷物の受け取りなどの細やかな作業にも対応することで、国内外のお客さまからご好評の声をいただいています。



オンサイト運用サービス

接続パートナーさまと共創するATBeX※

アット東京は、メガクラウドやネットワーク事業者、データセンターなどをつなぐ柔軟な相互接続を提供するサービス、ATBeXを展開しています。WEBサイト「ATBeXポータル」では、接続パートナーさまにブログを寄稿いただいているほか、接続パートナーの皆さまとともにリアルで集う「ATBeX Meeting」も開催しています。ATBeXは、ネットワークのみならず、接続パートナーさま同士をつなぐ相互接続サービスを目指しています。

※AT TOKYO Business eXchange(アットベックス)



WEBサイト
「ATBeX
ポータル」

こちらから



INTERVIEW

社員の声を通して、アット東京のサステナブルなアクションをご紹介します。

持続可能なデータセンター運営のために

私たちアット東京では、持続可能な未来を築くために、環境への影響を最小限に抑えることを常に考えています。再生可能エネルギーの利用やエネルギー効率の向上など、さまざまな取り組みを通じてCO₂の削減を推進。水資源の有効利用にも力を入れており、冷却システムの最適化や水の再利用も進めています。これらは、社員一人ひとりの努力と革新的技術

の導入によって可能になるものです。だからこそ私たちは、働く人が最大限のパフォーマンスを発揮できる環境を提供し、持続可能なデータセンター運営を追求しています。

執行役員 経営企画副本部長 兼
企画本部 サステナビリティ推進部長
竹澤 元



充実の社内制度で、誰もが働きやすい環境を

私は、アット東京の営業部門で初の父親としての育休取得者です。当時、営業の最前線で働く中での育休取得は勇気が要りましたが、チームの上司や同僚の支えもあり、取得を実現できました。従来より、アット東京ではフレックス勤務やリモートワーク制度、ライフサポート休暇(子の看護、介護)といった社内制度が充実しており、

キャリアと育児の両立を実現しやすい環境ではありましたが、私が育休から戻った後、同じ部門で男性の育休取得者が増えるなど、多くの方にとってより働きやすい環境が整ったと感じています。

アカウントセールス本部
社会基盤営業部1グループ チーフ
齋藤 彬



日々、現場でダイバーシティの浸透を実感

新卒でアット東京に入社して以来、社会の重要な役割を担う事業に関わっていることが私の誇りです。データセンターの現場では、私を含めた多くの女性が技術職として活躍中。同僚には日本以外の国籍の方々もいて、誰もが働きやすい環境だと思います。国や多くの企業がダイバーシティへの取り組みに力を入れる中、

アット東京ではそれを意識せず、当たり前のこととして行なわれていると実感しています。この会社ですべて働きたいと思えずし、必要とされる人間でありたいです。

ソリューション本部
運用サービスグループリーダー
伊藤 華子



公正かつ誠実に、「正しさの追求」を実践する

情報社会において極めて重要なインフラであるデータセンター事業を展開するアット東京は、法の精神を遵守し、公正かつ誠実な業務遂行を事業の根幹においています。具体的には、社長を委員長とする企業倫理委員会にてコンプライアンスを含む企業倫理に関する活動計画を決定・実行するとともに、社員一人ひとりが「セコムグループ社員行動

規範」を拠り所とした「正しさの追求」を実践すべく、繰り返し学んでいます。この「正しさ」は、社会にとって、あるいは人としての正しさであり、時代とともに変化していますので、常に感性を高めていくことが重要だと考えています。

経営企画本部
総務部長
矢口 浩二





アット東京は、社会基盤を支える情報通信インフラの提供事業者として、
これからも省エネルギーや環境に配慮し、
お客さまにとって価値あるデータセンターとなることを目指します。

@Tokyo

<https://www.attokyo.co.jp/>



株式会社アット東京

東京都江東区豊洲5-6-36

TEL: 03-6372-3500 FAX: 03-6372-3009 Mail: at-sales@attokyo.co.jp



CARBON REDUCTION

-8.20 kg CO₂

カーボンニュートラルな社会の実現を
目指し、この印刷物は、カーボンゼロ
プリント工場で印刷しています。
CZP-0524005055 (500copies)